

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(超短期プログラム用)

2018年 3月20日

東京大学での所属学部・研究科等:	教養学部	学年(プログラム開始時):	学部1
参加プログラム:	Building the TOMODACHI Generation Morgan Stanley Ambassadors Program	派遣先大学:	なし
卒業・修了後の就職(希望)先:			
	1. 研究職	<input checked="" type="checkbox"/>	2. 専門職(医師・法曹・会計士等)
	3. 公務員	<input checked="" type="checkbox"/>	4. 非営利団体
	5. 民間企業(業界: )		6. 起業
	7. その他( )		

派遣先大学の概要

大学ではなく、基本的にThe Washington Center (TWC)でレクチャーを受け、TWCのスタッフが面倒を見てくれます。TWCはアメリカのワシントンDCにあるnonprofit organizationで普段はインターンのプログラムなどを行なっています。

参加した動機

参加の準備

①プログラムの参加手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

東大での選考は、案内、締め切り通りに進めれば良いと思います。CVなどを書かないといけないので余裕を持って進めると良いでしょう。東大の選考後は基本メールで物事が進むので、メールを見逃さないようにしてください。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

ESTAの登録だけありました。TWCから登録するように連絡が来るので、そしたら取り掛かれれば良いと思います。

③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

風邪薬を持って行きました。実際に滞在中風邪をひき薬が役に立ちました。

④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

東大から言われて付帯海外に加入しました。

⑤プログラム参加にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

春休み中でしたので特に必要な手続きはありませんでした。

⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)
自身では特には行いませんでした。
⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど
TWCから2週に一回ほど、事前課題のreading assignmentが書かれているメールが送られて来るのでそれをコツコツやっておくと後々かなり楽になると思います。
<b>学習・研究について</b>
①プログラムの概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている内容等)
1週目は市民社会について学びます。レクチャーがメインで午後はフィールドワークもあります。実際のnonprofit organizationや世界銀行などを訪問しました。復習はそこまで必要ありませんが、毎回のレクチャーへの予習は必須です。2週目は自分の強みやリーダーシップスタイルを理解するワークショップを受けると同時に、東北の復興に関するグループでのプロジェクトを行いました。
②学習・研究面でのアドバイス
reading assignmentは大量にありますが、レクチャーを理解するために必要なので日本にいるときからコツコツ読み、要約して与えられる質問に対する答えを用意しておくといいでしょう。アメリカで読もうとしても、膨大&時差ボケでなかなか進まないと思います。
③語学面での苦勞・アドバイス等
アメリカではレクチャーを受ける際に発言・質問することが求められるので積極的に行うとよいとおもいます。語学力が必要なのはもちろんですが(ないとレクチャーを理解できない)、それだけでなく積極性がかなり大事です。
<b>生活について</b>
①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)
TWCから徒歩5分のホテルに泊まりました。TWCが全て手配してくれます。歩いてすぐのところにドラッグストアがありますし、ホテルの部屋は二人一部屋でそこそこ広く快適です。朝ごはん・夜ご飯もついています。
②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)
食事はほぼ全食TWCあるいはホテルから与えられます。ワシントンDCはmetroやバスがあるので交通手段には困らないと思います。私のいた期間は雪が降ったと思えば、20度を超えたりしたので、行く前にチェックしてどんな気候にも対応できる服を持って行きましょう。
③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)
特に問題はありませんでした。不安であれば夜出歩くときは一人になるのを避けるなどすると良いでしょう。
④要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)
航空費・宿泊費・食費・授業料は全てスポンサーが負担していただきます。私は娯楽費1万円程度と保険代6000円程しか使いませんでした。ショッピングが好きな方はもう少しお金を持って行くと良いでしょう。

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

受給していません。

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

あまり自由な日はありませんでしたが、夜や最終日の午後に遊びに出かけたりしました。

### 派遣先大学の環境について

①参加学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

生活面はTWCのスタッフが、学習面はfaculty adviserがサポートしてくれるので問題ないと思います。彼らの中に日本語が話せる方がいますし、他の日本人の生徒とほとんどずっと一緒に行動するので、語学面でも問題ないと思います。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

### プログラムを振り返って

①プログラムの意義、参加を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

市民社会について様々な視点から学ぶことができました。実際にnonprofit sectorに関わる人からお話を聞くことができ、自分のキャリアプランが少し定まったかと思います。また、リーダーシップや強みに関するワークショップに参加することによって自分のことをより理解ができ、どうグループワークの際に自分が活躍すれば良いかがわかりました。

②参加後の予定

まずは自分がどの学部に進学するか、どういう専門性を身につけたいか決めたいと思います。

③今後参加を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

かなりインテンシブなプログラムで、市民社会についてたくさん学びたい方にオススメです。積極的に、自分から求めにいくと得られるものも多いと思います。

### その他

①準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

TWCからのメールをチェックしていれば、その他は特に必要ないかと思います。

②その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。